学校番号	３０１

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年では、書の古典の臨書を中心に用具・用材の扱いや、姿勢、執筆、運筆、結構を学びます。これまでに書いたことのないような様々な書表現に触れるので、新たなものを知ろう、というウキウキワクワクした気持ちを持ちましょう。そして、幅広い感受性、鑑賞力をつけ、感受したことを言葉で表現することと、書道の基礎的技能を身に付けることを目指します。様々な書表現に触れ、自分の好きな表現や目指したい表現を見つけていきましょう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書の表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ スピーチ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ スピーチ コメントシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期・月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期　四月(月表示については目安)	書体の変遷　書写と書道	国語科書写と芸術科書道 書体の変遷 用具、用材の扱いと授業について	○		○	○	a:書写と書道の共通点、相違点に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 c:用具、用材を的確に扱えている。姿勢執筆の基本を身に付け表現している。 d:　書体の変遷について理解し、さまざまな良さを味わおうとしている	観察 レポート ワークシート 提出作品
	漢字かな交じりの書	書写と書道の共通点、相違点を感受する。 中学までに学んだ書写の表現で漢字仮名交じりの文を書き、書道の表現との相違を感受する。	○	○		○	a:　書写と書道の共通点、相違点に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:　書写での基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 d:　書写と書道の共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
五月	漢字の書・楷書の学習	楷書の学習 さまざまな書風の臨書と鑑賞 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘	○	○	○	○	a:　各古典の歴史、書風の共通点、相違点に興味を持ち、楷書の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。 d:　各古典の共通点、相違点を感受し、古典作品を味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
六月	漢字の書・楷書の学習	雁塔聖教序 顔氏家廟碑		○	○	○	b:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

							d: 各古典の共通点、相違点を感受し、古典作品を味わっている。	提出作品
二学期 七月 八月	漢字の書・行書の学習	行書の学習 行書の特徴と基本 蘭亭序 風信帖	○	○	○	○	a: 行書の歴史及び各古典の歴史、書風の共通点、相違点に興味を持ち、行書の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。 d:行書の特徴及び 各古典の共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	夏期課題	展覧会鑑賞レポート 書道関係書籍感想文				○		レポート
九月	漢字の書・創作の学習	選択的臨書	○	○	○		a: 古典の表現の違いに興味を持ち、自主的に意図をもって古典を選び、意欲的に取り組もうとしている。 b: 各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付けて表現している。 d:各古典の特徴及び共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
		互評会 同じ古典を選んだ者でお互い批評やアドバイスを行う				○		観察 コメントシート
十月	漢字の書・創作	古典を生かして書こう 四字熟語作品創作 各自が選んだ古典を参考に創作作品を仕上げ、翌年のカレンダーに仕立てる。	○	○	○		a: 古典の表現の違いに興味を持ち、創作の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。 d:行書の特徴及び 各古典の共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
		仕上げた作品について発表及び鑑賞				○		観察 コメントシート スピーチ

十月 十一月 三学期 十二月	漢字の書の学習・篆書、篆刻の学習	篆書の学習	○	○			a: 篆書の歴史や表現に興味を持ち、篆書・篆刻の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 篆書の特徴及び形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 篆書の特徴及び形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。 d:篆書の特徴を感受し、味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
		篆刻を鑑賞する 篆刻・姓名印の作成	 ○	 ○	 ○	○	a: 篆刻の歴史や表現に興味を持ち、篆刻の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 篆刻の手順、用具について理解し、基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 篆刻の表現について理解し基礎、基本を身に付け表現している。 d:篆刻の特徴を感受し、味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
一月 二月	仮名の書の学習	用具・用材の扱いなど 鑑賞 仮名の基本の姿勢・執筆・ 基本用筆 単体 連綿 臨書	○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	a: 仮名の用具・用材に興味を持ち、仮名の書の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の線質・字形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 仮名の線質・字形や筆使いの基礎、基本を身に付け表している。 d:仮名の古典の紙や墨色の変化などを感受し、作品を味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書の表現の構成と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。